

## 2 地域性を活かした多様な生涯学習の推進方向

### (1) 生涯学習の圏域と相互支援のための 仕組みづくり

京都府内の各地域における生涯学習を振興するための機会と交流の充実を目指して、①生涯学習の活動の圏域に応じた学習条件の整備、②広域的な生涯学習の圏域等を結ぶ情報ネットワークの整備、③各地域固有の学習資源を活用した学習の相互交流の促進に努めます。

生涯学習に関する府民の関心が多様化・高度化する中で、府民の要求に即した生涯学習の機会や情報が十分提供されているとは言えず、都市部では生活の多様化に対応した学習機会や手軽に入手できる学習情報が、農山漁村では生涯学習のための機会の充実や、特に質の高い演劇や音楽等の鑑賞機会が求められています。

また、小さなグループ活動が盛んになる反面、女性団体、青少年団体や消防活動などの既成の地域活動の参加者も減る傾向にあり、地域での共同体意識も低下しています。

北部地域や中部地域では、若者の流出とそれによる人口の高齢化の進行、農林水産業の停滞などに対応した活力ある地域づくりが重要な課題であり、生涯学習の観点からも取り組みを強める必要があります。

一方、京都府内の各地域は、それぞれ豊かな自然、歴史、文化など、生涯学習の貴重な資源に恵まれていることから、これらの地域が互いに自ら持たない学習資源については、相互に提供し合い、活かすことができます。

このため、各地域における多様な生涯学習の機会の確保と地域課題の解決を目指して、次のとおり、身近な施設を重視する分散型配置を基本として、生涯学習の条件整備、学習の相互交流と支援に努めます。

#### (生涯学習の活動の圏域に応じた学習条件の整備)

日常の活動状況から生涯学習にふさわしい行動の圏域として、日常的な学習の圏域、市町村を単位とする学習の圏域、より広域的な学習の圏域が考えられます。特に生涯学習の基礎となる市町村の学習の圏域について、公民館、図書館等の学習関連施設、学習相談体制の充実や関係機関の協力・連携による生涯学習に関する連絡会の設置などを促進します。

また、小中学校においても、地域の教育文化の拠点として、その活用が図られるよう「開かれた学校」の一層の促進を図ります。



## (2) 北 部

①府民の要求に応じた生涯学習のための条件の整備、②過疎化、高齢化、地域の活性化などの地域課題のための学習活動とその交流の促進、③天橋立などに代表される豊かな自然環境、歴史文化、民話・伝説、祭りや伝統行事などを活かした学習機会や観光、保養、レクリエーションに関連した学習機会の充実を促進します。

(広域的な生涯学習の圏域を結ぶ情報交流ネットワークの形成)

北部、中部、南部地域を広域的な学習の圏域として、生涯学習活動の支援や学習相談などの生涯学習を推進するための中心的機能の整備をはじめ、各種文化・スポーツ等の施設や地域の拠点施設などを結ぶ生涯学習情報交流ネットワークの整備などを促進します。

(各地域が持つ固有の学習機会の相互交流・支援)

自然環境や動植物、歴史・文化など、各地域の固有の学習資源を活かした学習機会や地域課題についての学習活動を充実します。また、京都に対する理解を広く国内外に深めるための、各層による通訳やホームステイなどのボランティア活動、自発的な仲間づくりや地域学習交流、学習機会の拡充、生涯学習プログラムの開発などを進め、地域における学習活動の活性化と学習を通じた地域相互の交流・支援を促進します。

北部地域は、広域的な学習の圏域としての交通網の整備に合わせて、利便のよい各種の生涯学習施設や機会の整備・確保など、生涯学習の条件整備を促進します。

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市など、生涯学習施設に恵まれた都市部と、豊かな自然等の学習資源に恵まれた周辺の農山漁村部については、生涯学習情報や機会について、相互の支援を促進します。

農山漁村部を中心に、若者の流出による過疎化や高齢化も著しく、地域産業の後継者の育成や地域の活性化が必要となっており、これらは、産業や日常生活に密着した学習課題です。したがって、こうした地域の活性化につながるまちづくりや地域おこしと連携した生涯学習を振興します。

更に、公民館、図書館などの生涯学習関連施設における学習機会の充実と連携・協力関係づくりを進めるとともに、生涯学習機関としての学校の教育機能の活用を促進します。